

獨協埼玉高等学校 学校評価 第三者評価 (2018年度)

能動的な学習、表現活動機会の保障について

1. 学校生活の限られた時間の中で、学習時間や学習活動の機会を保障するためには部活時間とのバランスが問題になるだろう。
2. 獨協大学を進学先に考える生徒が、保護者が増え始めているようなので、外部説明会でも獨協大学の認知度を高める取り組みを積極的にやってはどうか。

ICT機器の利用に関して

プロジェクターが全教室に配備され、タブレットの数も増やしているとのことだが、生徒諸君はタッチパッドには慣れているもののキーボードには不慣れなので、打ち込み可能な機器の利用が望まれる。

登下校時のマナー向上について

多くの学校で取り組んでいることだが、周辺地区の清掃や行事への参加など形は様々である。獨協埼玉高校の生徒会はこのような活動に積極的に関わっているのだろうか。生徒会が自ら判断、行動できるようになると理想的である。例えば地域のイベントに参加し、和太鼓演奏や写真部による撮影などをやってはどうか。

SNSトラブルに関して

年度当初に実施している携帯マナー教室で高校生のSNSトラブルの実例を数多く挙げてもらい、他人ごとではないという認識を持たせる必要がある。